



息もピッタリ。熟練した移動製材技術を見学



地元の達人として参加

廻立美代治さん (75)
廻立 チヤさん (73) (田の沢)

町内で丸ノコを使って移動製材をやっているのは私たちだけになりました。50年以上やっていますが、木は難しいですよ。その木の癖を見抜いても、自分たちの気持ちが落ち着いていなければ、木もよれて曲がってしまいます。夫婦で作業しているのでなんとか今までやってこれました。少しでも気持ちに乱れがあると、ケガの元ですから、けんかはできませんよ。今は、山から切り出してきたの製材は少なくなりましたが、きつい仕事なのでいつまで続けられるかわかりませんね。



絵を指導した日本画家の千住博さん



香道志野流次期家元蜂谷宗^{ひつ}忍さんが香道の心得を指導しました。



塾生として参加

鳥居京子さん
(田の沢・67)

今年最大の思い出です。どの先生も気さくで、人間的に素晴らしい人たちでした。谷村さんの若い時の苦労話などを聴き、人柄に触れることができました。葛巻でこのような機会を作っていただいた黛さんに感謝しています。郷土食や土地柄など葛巻の良さも伝えることができたように思います。



地元の経木がキャンパス。約20種の岩絵の具と地元の土を使って描きました。



夜学で「葛巻の民話」を語る中央[㊤]が近藤清助さん、[㊦]が木ノ下伝次郎さん。葛巻弁にはやはり解説が…。

プロジェクト ええじゃないか

実行委員として参加

長山絵理子さん
(田部触沢・34)



「もっとこの町を知りたいなあ」。日ごろからそんな思いを持って葛巻に住み始めた私にとって、実行委員として参加できたことはとてもラッキーでした。

旧江刈川分校の小さな校舎にあふれんばかりの熱気、地元の語り部による昔話やみんなで踊った盆踊りが今でも特に心に残っています。目のまわるような思いもしましたが、周りの方々に助けられ、とても親切にいただき、本当に楽しかった二日間でした。

んだなあ、やっぱり葛巻ってどごは「ええじゃないか！」

夜学「手仕事の世界」では、塩野米松さんがコーディネーター役となり、町内の達人たちと語り合いました。



二日目の昼食は、郷土料理バイキング。どれもこれもおいしいと大好評。

